

2025年度 シラバス

科目名	美容モード理論	区分	選択	授業時数	105時間	対象学年	1年
担当教員	岩本 岡田 奥田 尾崎 門田 菊川 倉津 清水 鈴木 中澤 中西	実務経験	無				
学修内容	美容に携わる者として国家試験課題以外の幅広い技術を習得する。色彩の幅広い活用法やアロマセラピー（芳香療法）を知ることで美容でも関係する植物から採られた香り成分（精油）や、トリートメントやマッサージに使用する植物由来のオイルを自分で調合しそれらを利用出来るようになる。色の基礎知識（色の分類、三属性、PCCS、配色方法、色を見るための条件など）を習得する。また、色の違いや、色の属性の違いによる顔の変化をカラーカードやカラードレープを使って見極めるトレーニングを重ね、他者にアドバイスができるための理論を習得する。長時間にわたり立位姿勢での業務が多い為、身体的精神的ストレスの解消法として、また自己メンテナンスをすることは非常に重要である。安全で正しいまつげエクステ技術の習得。						
到達目標	色彩検定3級合格取得、色彩に関する知識、技能を習得。アロマセラピーの基礎的な知識の習得。パーソナルカラー検定モジュール1の取得。自己メンテナンス方法を習得し、実務に役立たせる。まつげエクステの基本的な技術と知識の習得。						
授業の方法	授業は内容により講義または自習を中心に行う。必要事項を板書し、教員のデモンストレーションを見ながら練習を行い達成度を確認していく。学生の理解度を確認しながら進度を決めていく。椅子やマットを使用し、その上でストレッチや筋力トレーニングを行う。						
成績評価の方法と基準	後期各1回の筆記試験にて評価を行う。試験は100点方式をもって採点し、60点以上を合格とする。成績評価はA, B, C, Dで表し、A, B, Cまでを合格として履修を認定する。Dは再試験を受けなければならない。						
授業時間外に必要な学修の具体的内容	その日行ったテクニックをプリント確認して復讐の練習を行う。						
使用教材	アロマ授業で各自使用のオイル50ml、フェイスタオル、アロマコーディネーターレッスン、精油テキスト（プリント）、ブロー道具一式、ヘアアレンジ道具一式、テキスト初級、パーソナルカラー配色カード、日本色研新配色カード199a、色相環掛図、トーン掛図、ヨガマット						
履修に当たっての留意点							
各コマにおける授業計画							
回	主 題	授 業 内 容				備 考	
第1回	オリエンテーション	検定について、パーソナルカラーとは					
第2回	色のものさし①	色相とは、色相環作成					
第3回	色のものさし②	明度、彩度とは					
第4回	色のものさし③ トーン①	清濁とは、トーンとは					
第5回	トーン②	トーンのイメージ					
第6回	パーソナルカラーにおける色相	色相の違いが及ぼす顔の変化					
第7回	パーソナルカラーにおける明度	明度の違いが及ぼす顔の変化					
第8回	パーソナルカラーにおける彩度	彩度の違いが及ぼす顔の変化					
第9回	パーソナルカラーにおける清濁	清濁の違いが及ぼす顔の変化					
第10回	フォーシーズン分類①	各シーズンの特徴とイメージ					
第11回	フォーシーズン分類②	前回の続き					
第12回	基本配色法①	色相配色					
第13回	基本配色法②	トーン配色					
第14回	基本配色法③	アクセント、セパレーション、グラデーション					
第15回	属性と心理効果	色の寒暖、膨張収縮、進出後退、対比、同化など					
第16回	色を見るための条件①	光について					
第17回	色を見るための条件②	物体について					
第18回	色を見るための条件③	目について					
第19回	検定直前対策①	過去問題を使った直前対策 Q&A					
第20回	検定直前対策②	過去問題を使った直前対策 Q&A					
第21回	定期試験	定期試験					
第22回	試験返却と解説	定期試験返却と解説					

2025年度 シラバス

科目名	美容モード理論	区分	選択	授業時数	105時間	対象学年	1年
担当教員	岩本 岡田 奥田 尾崎 門田 菊川 倉津 清水 鈴木 中澤 中西	実務経験	無				
学修内容	美容に携わる者として国家試験課題以外の幅広い技術を習得する。 色彩の幅広い活用法やアロマセラピー（芳香療法）を知ることで美容でも関係する植物から採られた香り成分（精油）や、トリートメントやマッサージに使用する植物由来のオイルを自分で調合しそれらを利用出来るようになる。色の基礎知識（色の分類、三属性、PCCS、配色方法、色を見るための条件など）を習得する。また、色の違いや、色の属性の違いによる顔の変化をカラーカードやカラードレープを使って見極めるトレーニングを重ね、他者にアドバイスができるための理論を習得する。長時間にわたり立位姿勢での業務が多い為、身体的精神的のストレスの解消法として、また自己メンテナンスをすることは非常に重要である。						
到達目標	色彩検定3級合格取得、色彩に関する知識、技能を習得。アロマセラピーの基礎的な知識の習得。パーソナルカラー検定モジュール1の取得。自己メンテナンス方法を習得し、実務に役立たせる。						
授業の方法	授業は内容により講義または自習を中心に行う。必要事項を板書し、教員のデモンストレーションを見ながら練習を行い達成度を確認していく。学生の理解度を確認しながら進度を決めていく。椅子やマットを使用し、その上でストレッチや筋カトレニングを行う。						
成績評価の方法と基準	後期各1回の筆記試験にて評価を行う。試験は100点方式をもって採点し、60点以上を合格とする。成績評価はA,B,C,Dで表し、A,B,Cまでを合格として履修を認定する。Dは再試験を受けなければならない。						
授業時間外に必要な学修の具体的内容	その日行ったテクニックをプリント確認して復讐の練習を行う。						
使用教材	アロマ授業で各自使用のオイル50ml、フェイスタオル、アロマコーディネーターレッスン、精油テキスト（プリント）、ブロー道具一式、ヘアアレンジ道具一式、テキスト初級、パーソナルカラー配色カード、日本色研新配色カード199a、色相環掛図、トーン掛図、ヨガマット、プロアイリスト理論1～初級～						
履修に当たっての留意点							
各コマにおける授業計画							
回	主 題	授 業 内 容				備 考	
第23回	配色技法①	トータル配色、ピコロール配色、トリコロール配色など					
第24回	配色技法②	トーンオントーン配色、トーンイントーン配色等					
第25回	配色技法③	ナチュラル配色、コンプレックス配色など					
第26回	配色技法④	色相の分割による配色法					
第27回	グループワーク①	色相環作成（グループワーク）					
第28回	グループワーク②	トーン表作成（グループワーク）					
第29回	グループワーク③	イメージと色①（パーソナルカラー配色カードを使って）					
第30回	グループワーク④	イメージと色②（パーソナルカラー配色カードを使って）					
第31回	精油の扱い方を知る	精油の使用法・注意事項・アロマセラピーでの禁忌					
第32回		実習：フェイシャルスチーム・バスソルト					
第33回	精油の生い立ちを知る	精油の抽出部位・精油の抽出方法					
第34回		実習：植物性シャンプー					
第35回	アロマリラクスেশョン1	植物性オイルの種類と特徴・オイルトリートメントの効果					
第36回		実習：トリートメント用オイル（ボディ）					
第37回	自然の香りでスキンケア1	ブレンドする時の精油の濃度・数滴の計算の仕方					
第38回		実習：ローション					
第39回	自然の香りでスキンケア2	人間の脳と嗅覚					
第40回		実習：クレイパック					
第41回	自然の香りでスキンケア3	フェイストリートメント 顔と首の筋肉・トリートメントの方法					
第42回		実習：トリートメント用オイル（フェイス）					
第43回	中世ヨーロッパ 魔法の水	香り歴史					
第44回		実習：ハンガリーウォーター					

2025年度 シラバス

科目名	美容モード理論	区分	選択	授業時数	105時間	対象学年	1年
担当教員	岩本 岡田 奥田 尾崎 門田 菊川 倉津 清水 鈴木 中澤 中西	実務経験	無				
学修内容	美容に携わる者として国家試験課題以外の幅広い技術を習得する。色彩の幅広い活用法やアロマセラピー（芳香療法）を知ることで美容でも関係する植物から採られた香り成分（精油）や、トリートメントやマッサージに使用する植物由来のオイルを自分で調合しそれらを利用出来るようになる。色の基礎知識（色の分類、三属性、PCCS、配色方法、色を見るための条件など）を習得する。また、色の違いや、色の属性の違いによる顔の変化をカラーカードやカラードレープを使って見極めるトレーニングを重ね、他者にアドバイスができるための理論を習得する。長時間にわたり立位姿勢での業務が多い為、身体的精神的のストレスの解消法として、また自己メンテナンスをすることは非常に重要である。						
到達目標	色彩検定3級合格取得、色彩に関する知識、技能を習得。アロマセラピーの基礎的な知識の習得。パーソナルカラー検定モジュール1の取得。自己メンテナンス方法を習得し、実務に役立たせる。						
授業の方法	授業は内容により講義または自習を中心に行う。必要事項を板書し、教員のデモンストレーションを見ながら練習を行い達成度を確認していく。学生の理解度を確認しながら進度を決めていく。椅子やマットを使用し、その上でストレッチや筋カトレーニングを行う。						
成績評価の方法と基準	後期各1回の筆記試験にて評価を行う。試験は100点方式をもって採点し、60点以上を合格とする。成績評価はA,B,C,Dで表し、A,B,Cまでを合格として履修を認定する。Dは再試験を受けなければならない。						
授業時間外に必要な学修の具体的内容	その日行ったテクニックをプリント確認して復讐の練習を行う。						
使用教材	アロマ授業で各自使用のオイル50ml、フェイスタオル、アロマコーディネーターレッスン、精油テキスト（プリント）、ブロー道具一式、ヘアアレンジ道具一式、テキスト初級、パーソナルカラー配色カード、日本色研新配色カード199a、色相環掛図、トーン掛図、ヨガマット、プロアイリスト理論1～初級～						
履修に当たっての留意点							
各コマにおける授業計画							
回	主 題	授 業 内 容				備 考	
第45回	香りでお口のエチケット1	精油の安全性					
第46回		実習：マウスウォッシュ					
第47回	しなやかな髪をあなたに	アロマに役立つ解剖・生理学 呼吸器とアロマ					
第48回		実習：ヘアパック					
第49回	アロマリラクスセッション2	アロマに役立つ解剖・生理学 循環器とオイルトリートメント					
第50回		実習：オイルトリートメント練習					
第51回	清潔な安らぎをお部屋に	ルームフレグランスと香りの心理					
第52回		実習：エアーフレッシュナー					
第53回	大切なシーンを彩るために	パフュームの知識・香りのノート					
第54回		実習：オリジナルパフューム					
第55回	香りでお口のエチケット2	精油に含まれている成分					
第56回		実習：歯磨き粉					
第57回	自然の香りでスキンケア4	復習					
第58回		実習：クリーム					
第59回	アロマと法律	アロマセラピーに関する法令 後期試験					
第60回		実習：ハーブティ					
第61～65回	ラップブロー テンションブロー	サスンヘアカットコンテスト1次予選に向けての ブロー技術習得					
第66～70回	ヘアアレンジ	校外イベントで使用できるヘアアレンジ技術の習得					

2025年度 シラバス

科目名	美容モード理論	区分	選択	授業時数	105時間	対象学年	1年
担当教員	岩本 岡田 奥田 尾崎 門田 菊川 倉津 清水 鈴木 中澤 中西	実務経験	無				
学修内容	美容に携わる者として国家試験課題以外の幅広い技術を習得する。色彩の幅広い活用法やアロマセラピー（芳香療法）を知ることによって美容でも関係する植物から採られた香り成分（精油）や、トリートメントやマッサージに使用する植物由来のオイルを自分で調合しそれらを利用出来るようになる。色の基礎知識（色の分類、三属性、PCCS、配色方法、色を見るための条件など）を習得する。また、色の違いや、色の属性の違いによる顔の変化をカラーカードやカラードレープを使って見極めるトレーニングを重ね、他者にアドバイスができるための理論を習得する。長時間にわたり立位姿勢での業務が多い為、身体的精神的ストレスの解消法として、また自己メンテナンスをすることは非常に重要である。安全で正しいまつげエクステ技術の習得。						
到達目標	色彩検定3級合格取得、色彩に関する知識、技能を習得。アロマセラピーの基礎的な知識の習得。パーソナルカラー検定モジュール1の取得。自己メンテナンス方法を習得し、実務に役立たせる。まつげエクステの基本的な技術と知識の習得。						
授業の方法	授業は内容により講義または自習を中心に行う。必要事項を板書し、教員のデモンストレーションを見ながら練習を行い達成度を確認していく。学生の理解度を確認しながら進度を決めていく。椅子やマットを使用し、その上でストレッチや筋力トレーニングを行う。						
成績評価の方法と基準	後期各1回の筆記試験にて評価を行う。試験は100点方式をもって採点し、60点以上を合格とする。成績評価はA, B, C, Dで表し、A, B, Cまでを合格として履修を認定する。Dは再試験を受けなければならない。						
授業時間外に必要な学修の具体的内容	その日行ったテクニックをプリント確認して復讐の練習を行う。						
使用教材	アロマ授業で各自使用のオイル50ml、フェイスタオル、アロマコーディネーターレッスン、精油テキスト（プリント）、ブロー道具一式、ヘアアレンジ道具一式、テキスト初級、パーソナルカラー配色カード、日本色研新配色カード199a、色相環掛図、トーン掛図、ヨガマット						
履修に当たっての留意点							

各コマにおける授業計画

回	主 題	授 業 内 容	備 考
第71回	柔軟性チェック ストレッチ	運動についてクイズ形式の座学を行う。 簡単な筋力・柔軟性チェックを行い、今の体の状態を知る。 各部位のストレッチ法を学び全身を伸ばす。	
第72回	綺麗な姿勢の作り方	姿勢についてクイズ形式の座学を行う。 そのあと、坐位・立位での印象が良く見える姿勢のポイントを ひとりずつチェックする。 それをもとにストレッチと自重トレーニングで全身を整える。	
第73回	フットケア ハンドケア	二人組になりフットとハンドケア。 ハンドのみオイルを使用し、指先から肘までをケアする。 フットは着衣のまま仰臥位と腹臥位で膝から下をケアする。	
第74回	セルフ・ ペアストレッチ 自重トレーニング	セルフとペアでのストレッチを行い、自重トレーニングを行う。	
第75回	姿勢チェック ペアストレッチ 自重トレーニング	総復習	
第76回	まつげエクステとは 装着方法/装着練習	まつげエクステの現状、メリットデメリット、 安全な技術習得のために ツイザーワーク、ラッシュの掴み方、まつ毛の書き分け方、グルー の塗布、根元の距離、根元の位置、毛先の方向性、手順	
第77回			
第78回			
第79回			
第80回			
第81回			
第82回	商材学	グルー、ツイザー、ラッシュ	
第83回			
第84回			

2025年度 シラバス

科目名	美容モード理論	区分	選択	授業時数	105時間	対象学年	1年
担当教員	岩本 岡田 奥田 尾崎 門田 菊川 倉津 清水 鈴木 中澤 中西	実務経験	無				
学修内容	美容に携わる者として国家試験課題以外の幅広い技術を習得する。色彩の幅広い活用法やアロマセラピー（芳香療法）を知ることで美容でも関係する植物から採られた香り成分（精油）や、トリートメントやマッサージに使用する植物由来のオイルを自分で調合しそれらを利用出来るようになる。色の基礎知識（色の分類、三属性、PCCS、配色方法、色を見るための条件など）を習得する。また、色の違いや、色の属性の違いによる顔の変化をカラーカードやカラードレープを使って見極めるトレーニングを重ね、他者にアドバイスができるための理論を習得する。長時間にわたり立位姿勢での業務が多い為、身体的精神的ストレスの解消法として、また自己メンテナンスをすることは非常に重要である。安全で正しいまつげエクステ技術の習得。						
到達目標	色彩検定3級合格取得、色彩に関する知識、技能を習得。アロマセラピーの基礎的な知識の習得。パーソナルカラー検定モジュール1の取得。自己メンテナンス方法を習得し、実務に役立たせる。まつげエクステの基本的な技術と知識の習得。						
授業の方法	授業は内容により講義または自習を中心に行う。必要事項を板書し、教員のデモンストレーションを見ながら練習を行い達成度を確認していく。学生の理解度を確認しながら進度を決めていく。椅子やマットを使用し、その上でストレッチや筋力トレーニングを行う。						
成績評価の方法と基準	後期各1回の筆記試験にて評価を行う。試験は100点方式をもって採点し、60点以上を合格とする。成績評価はA, B, C, Dで表し、A, B, Cまでを合格として履修を認定する。Dは再試験を受けなければならない。						
授業時間外に必要な学修の具体的内容	その日行ったテクニックをプリント確認して復讐の練習を行う。						
使用教材	アロマ授業で各自使用のオイル50ml、フェイスタオル、アロマコーディネーターレッスン、精油テキスト（プリント）、ブロー道具一式、ヘアアレンジ道具一式、テキスト初級、パーソナルカラー配色カード、日本色研新配色カード199a、色相環掛図、トーン掛図、ヨガマット						
履修に当たっての留意点							
各コマにおける授業計画							
回	主題	授業内容				備考	
第85回	装着練習	根元の距離 1～2mmの徹底					
第86回							
第87回							
第88回	トラブル事例	間違った技術によるトラブルの事例 ⇒トラブルを起こさないために					
第89回							
第90回							
第91回	装着練習	グルー塗布量の適正					
第92回							
第93回							
第94回	デザイン学	まつげエクステの様々なデザインとその効果					
第95回							
第96回							
第97回	装着練習	毛先の方向性					
第98回							
第99回							
第100回	講師によるデモ	モデルを使って実際の施術をデモンストレーション					
第101回							
第102回							
第103回	装着練習	左右対称にバランスよく装着⇒作品提出					
第104回							
第105回							

2025年度 シラバス

科目名	美容モード理論	区分	選択	授業時数	30時間	対象学年	2年
担当教員	藤川	実務経験	無			コース	カラーデザインコース
学修内容	AFT色彩検定公式テキスト1.2級編に準じて授業を行う。また、パワーポイントを使用した授業を行い、色彩の幅広い活用法を学ぶ。						
到達目標	色彩検定1級・2級の合格取得、色彩に関する知識、技能を習得する						
授業の方法	授業は主に講義にて行う						
成績評価の方法と基準	後期各1回の筆記試験にて評価を行う。試験は100点方式をもって採点し、60点以上を合格とする。成績評価はA, B, C, Dで表し、A, B, Cまでを合格として履修を認定する。Dは再試験を受けなければならない。						
授業時間外に必要な学修の具体的内容	特になし						
使用教材	AFT色彩検定公式テキスト1級編、2級編						
履修に当たっての留意点	特になし						
各コマにおける授業計画							
回	主 題	授 業 内 容				備 考	
第1回	生活と色	AFT色彩検定公式テキスト2級P4～7に準じた授業 身の回りの色の見え方の理解を深める					
第2回	光と色 光の性質と色	AFT色彩検定公式テキスト2級P8～10に準じた授業 物体の反射の特性などの理解を深める					
第3回	光と色 視覚系の構造	AFT色彩検定公式テキスト2級P11～15に準じた授業 視覚（目）に対する色の見え方の理解を深める					
第4回	光と色/照明	AFT色彩検定公式テキスト2級P16～21に準じた授業 照明の種類や照明の色の見え方を習得する					
第5回	色の表示 マンセル表色系	AFT色彩検定公式テキスト2級P22～27に準じた授業 マンセル表色系について習得する					
第6回	色の表示 マンセル表色系	AFT色彩検定公式テキスト2級P22～27に準じた授業 マンセル表色系について習得する					
第7回	色の表示/色名	AFT色彩検定公式テキスト2級P28～31に準じた授業 色名について習得する					
第8回	色の表示/色名	AFT色彩検定公式テキスト2級P28～31に準じた授業 色名について習得する					
第9回	色彩調和	AFT色彩検定公式テキスト2級P32～43に準じた授業 配色や調和の技法を習得する					
第10回	色彩調和	AFT色彩検定公式テキスト2級P44～51に準じた授業 配色に対する演習や配色イメージを習得する					
第11回	ビジュアル	AFT色彩検定公式テキスト2級P52～57に準じた授業 グラフィック・パッケージデザインの技法を習得する					
第12回	ビジュアル	AFT色彩検定公式テキスト2級P58～65に準じた授業 Webデザインやサイン計画の考え方を習得する					
第13回	ファッション	AFT色彩検定公式テキスト2級P66～69に準じた授業 ファッション分類・流行色について習得する					
第14回	ファッション	AFT色彩検定公式テキスト2級P70～79に準じた授業 ファッション配色、繊維、ショップ売り場について習得する					
第15回	プロダクト	AFT色彩検定公式テキスト2級P80～83に準じた授業 プロダクトデザインの配色を習得する					

2025年度 シラバス

科目名	美容モード理論	区分	選択	授業時数	30時間	対象学年	2年
担当教員	藤川	実務経験	無			コース	カラーデザインコース
学修内容	AFT色彩検定公式テキスト1.2級編に準じて授業を行う。また、パワーポイントを使用した授業を行い、色彩の幅広い活用法を学ぶ。						
到達目標	色彩検定1級・2級の合格取得、色彩に関する知識、技能を習得する						
授業の方法	授業は主に講義にて行う						
成績評価の方法と基準	後期各1回の筆記試験にて評価を行う。試験は100点方式をもって採点し、60点以上を合格とする。成績評価はA、B、C、Dで表し、A、B、Cまでを合格として履修を認定する。Dは再試験を受けなければならない。						
授業時間外に必要な学修の具体的内容	特になし						
使用教材	AFT色彩検定公式テキスト1級編、2級編						
履修に当たっての留意点	特になし						
各コマにおける授業計画							
回	主 題	授 業 内 容					備 考
第16回	プロダクト	プロダクトデザインの考案。各自で考えたオリジナルシャンプーをプロダクトデザインの観点と配色で作成する					
第17回	インテリア	AFT色彩検定公式テキスト2級84～89に準じた授業 インテリアのスタイルと配色を習得する					
第18回	インテリア	AFT色彩検定公式テキスト2級90～97に準じた授業 インテリアのスタイルと配色を習得する					
第19回	エクステリア	AFT色彩検定公式テキスト2級98～103に準じた授業 エクステリアの環境と色彩について習得する					
第20回	エクステリア	AFT色彩検定公式テキスト2級104～113に準じた授業 住宅のエクステリアの環境色彩、色彩計画について習得する					
第21回	まとめ	2級概要の振り返り、テストガイダンス					
第22回	テスト	2級筆記テスト実施					
第23回	色彩と文化	AFT色彩検定公式テキスト1級4～9に準じた授業 古代ヨーロッパや近代ヨーロッパの色彩について習得する					
第24回	色彩と文化	AFT色彩検定公式テキスト1級10～13に準じた授業 日本の色彩文化について習得する					
第25回	配色イメージ	AFT色彩検定公式テキスト1級86～97に準じた授業 配色イメージの手法について習得する					
第26回	配色イメージ	AFT色彩検定公式テキスト1級86～97に準じた授業 配色イメージの手法について習得する					
第27回	配色イメージ	配色イメージの10テストのイメージカラーージュを作成 創造力・クリエイティブ力を身に着ける					
第28回	配色イメージ	配色イメージの10テストのイメージカラーージュを作成 創造力・クリエイティブ力を身に着ける					
第29回	ファッション	AFT色彩検定公式テキスト1級108～111に準じた授業 戦後～近代の流行ファッションの流れについて習得する					
第30回	ファッション	流行ファッション・年代ファッション・ ヘアメイクのカラーージュ作成					